

② ウィズコロナを意識したデジタルツールの開発

新型コロナウイルス感染症による社会変化はデジタルコミュニケーションを急加速させ、これまでのように企業が大学に足を運んで技術相談やシーズ探索をして共同研究に進展するスタイルは激減しました。この取組では、企業が自ら課題をWeb検索し、解決策（適する研究者）を見通したうえで、大学と接触し共同研究を開始できるようにするため、「先進的AIを駆使した研究者、研究

テーマ、特許の検索機能（デジタルコーディネーター）」、「研究・特許を売るためのショーウィンドウ機能」、「企業課題解決の研究者を募るオープンリサーチ機能」のほかチャット機能や広報機能などを備えた**統括的デジタルコミュニティツール**を開発・運用します。

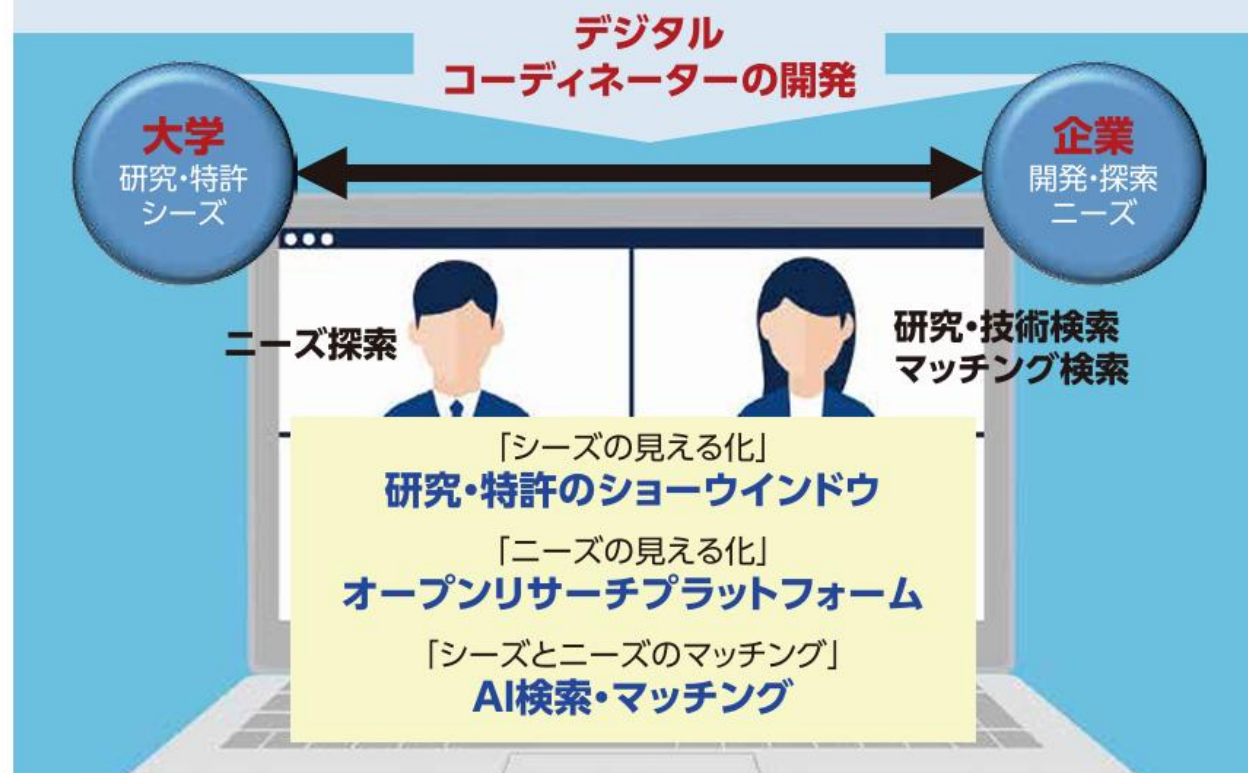
「シーズの見える化」と「AIマッチング」で研究成果を社会に還元

1) マッチングに関する従来の課題

検索してもヒットしない

2) 新型コロナウイルス感染症の影響

共同研究の入口はリアルからデジタルへ



デジタルコーディネーターの利用例

安い水素製造装置を共同開発したい

検索

思いつくまま入力



AI検索・マッチング
(表記ゆれ対応)



独自データベース
(研究情報+名寄せDB)

東海国立大学機構の研究者がヒット。
マッチング提案
(検索者は打合せ申込み)